

デマンド型乗合タクシー利用促進(ウェブ予約検証)事業

応募様式A

磐田市版共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	磐田市・市民団体等(地域公共交通会議)
事業実施地域	磐田市
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ こども・子育て ・ 商業・農業 ・ 地域・移住 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	磐田市、デマンド型乗合タクシー委託事業者、システム事業者
運行形態	①デマンド型乗合タクシー ②一般乗合旅客自動車運送事業
運行主体	遠鉄タクシー(株)

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

現在のデマンド型乗合タクシーは、予約方法を電話のみとしていることもあり、受付時間を 7 時から17時までと限定しているため利便性の面で課題があり、電話による連絡を負担に感じる層への利用拡大を阻害しているとの指摘もある。

また、電話予約については、運行主体の負担が大きく、経費増にもつながっている。

ただ、現在の利用者の主体は、高齢者(利用者平均年齢77.3歳)であることから、24時間受付をウェブ予約システムの導入により行っても、高齢者にとってわかりやすく使いやすいものでなければ、費用対効果が薄くなることが懸念される。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

有

運輸局・運輸支局への事前相談

静岡運輸支局

令和 5 年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

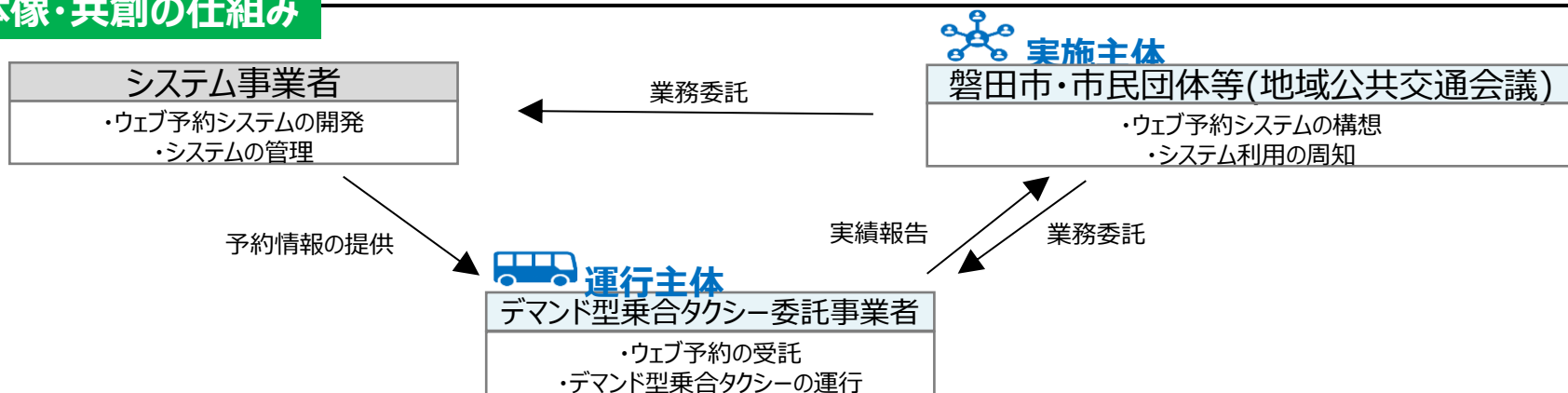
無

デマンド型乗合タクシー利用促進(ウェブ予約検証)事業

応募様式A

磐田市版共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

自治会連合会役員、包括支援センター職員、商工会議所役員、民生児童委員協議会役員等が委員を努める地域公共交通会議において各委員が、協働でデマンド型乗合タクシーの予約方法について検討した。検討結果から地域公共交通会議、運行委託事業者、システム事業者により共創で市内全8路線あるデマンド型乗合タクシーのうち磐田中央線（利用者は65歳以上等のみで利用が最も多い路線）と豊田線（利用者は全ての住民で利用が2番目に多い路線）において試験的にウェブ予約システムを導入し、高齢者にも利用しやすいシステムの在り方を検証する。ウェブ予約システムについての周知は、共創プラットフォームにおける自治会、老人クラブ、民生児童委員、地域包括支援センターなどの各事業主体と連携してスマホ教室などを行っていく。

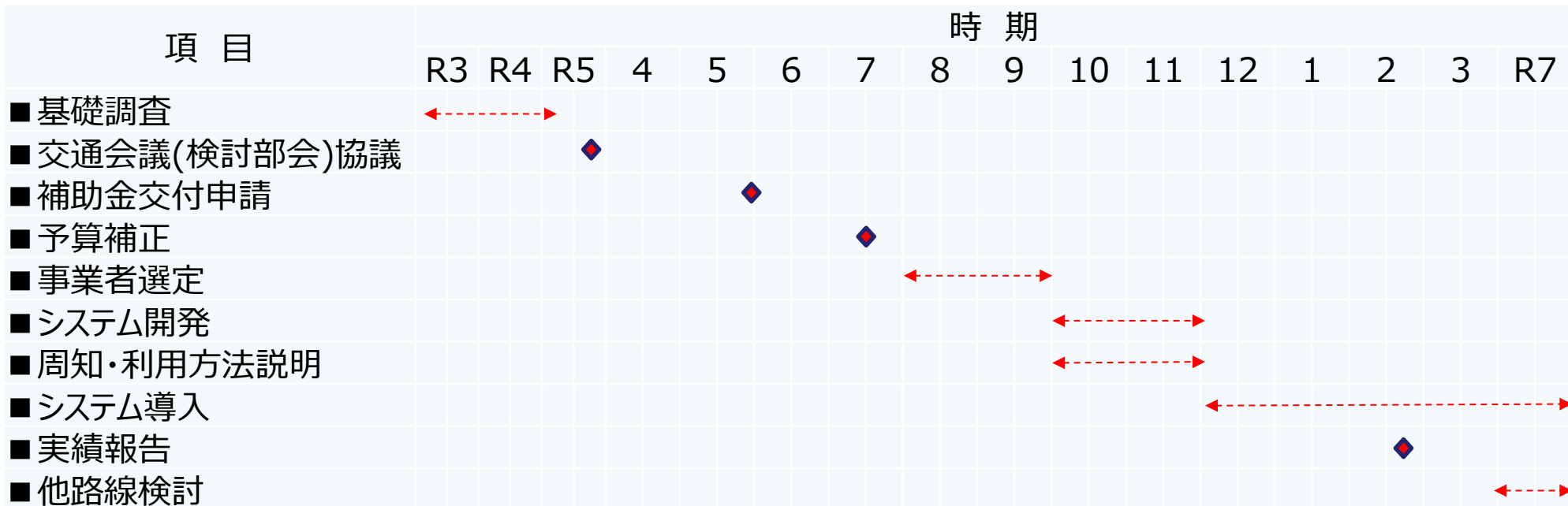
(地域の関係者との連携・協働)

関係者	役割分担	意義
地域公共交通会議	実施主体	現状の把握/検討/企画/実施/周知
デマンド型乗合タクシー委託事業者	運行主体	予約情報の受取り/運行経路等の作成/運行の実施
システム事業者	システム開発・管理	ウェブ予約システムの開発・管理/予約情報を運行主体へ報告

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

自宅と地域内の拠点等を結ぶ地域内の移動手段、及びバス路線を補完する拠点までの移動手段

事業実施手順・スケジュール



周知・利用方法説明においては、①自治会連合会が実施する高齢者サロン訪問、②民生児童委員協議会による高齢者宅訪問、③地域包括支援センターによる生活相談等と各地域公共交通会議委員の参画を想定している。

デマンド型乗合タクシー利用促進(ウェブ予約検証)事業

応募様式A

磐田市版共創プラットフォーム

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

- ・電話予約減少に伴う運行主体の負担軽減及び経費削減
- ・一般タクシー業務の負担軽減による、需要過多である現状の改善
- ・対象路線を2路線とし、磐田中央線（利用者は65歳以上等のみで利用が最も多い路線）、豊田線（利用者は全ての住民で利用が2番目に多い路線）とすることから、高齢者のウェブ利用及び全世代のウェブ利用効果の検証

(地域全体に及ぶと想定される効果)

- ・デマンド型乗合タクシーの利便性向上に伴う満足度の向上及び利用者の増加
- ・デマンド型乗合タクシー利用の障壁低減化
- ・デマンド型乗合タクシー制度の再周知

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

☐	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	☐	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
☐	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備		通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

令和7年 効果を検証し、必要に応じてシステムの見直しを実施する。また、効果の状況に応じてウェブ予約の対象エリアを拡大する。

資金面	令和6年度において、補助金を除いた額は、市で捻出する予定。 令和7年度以降は、システム使用料を市で捻出する予定であるが、ウェブ予約システムの普及につれてオペレーターに係る経費を削減し、ウェブ予約システム使用料に充てる。
人材面（運転手の確保）	磐田市デマンド型乗合タクシーは、日中の働きやすい時間帯に運行していることから、本事業の維持が運転手の確保に繋がっている。